

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------|-----|-----------|
| ○事業所名 | ネウボラロッツ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年1月4日 | | 令和7年2月28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 6名 | (回答者数) 4名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年1月4日 | | 令和7年1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 2名 | (回答者数) 2名 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 令和7年1月4日 | | 令和7年2月28日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象数) | 6施設 | (回答数) 6施設 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月17日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 法人では2016年から訪問支援を実施してきたことで、保育所や小学校とも顔の見える関係づくりができてきた。また児童発達支援センターで2019年から実施している。 | 市の教育委員会や保育所の所長会などでセンターのパンフレットなどを配布させていただいたり、初回訪問ではコーディネーターや管理職の先生とミーティングする時間をもらっている。 | 訪問支援を取り組んできた成果や連携方法などを自立支援協議会などで共有し、訪問支援をできる施設を増やしていくための周知をする。 |
| 2 | 言語聴覚士や作業療法士、公認心理師等の専門職が在籍しているため、子どもの発達評価や具体的な提案ができる。 | 児童発達支援や放課後等デイサービスとの連携や、標準化されている評価などを専門職が実施することで、子どものスキルを客観的に捉えて長所を生かした合理的配慮の提案など。 | 専門職の増員や、定期的な訪問支援。それぞれの所属機関で取り組みやすい支援グッズや環境設定の提案。 |
| 3 | 子どもの成長を通じて学校機関などで訪問することで、行事やつなぎ合いシートの作成などで保護者と共有させてもらって支援することができている。 | 所属機関での困りごとなどは授業や行事などの場面に訪問するようにしている。 | 定期的にもモニタリングをすることで、訪問しない期間の子どもの様子を担任等と共有し、予測できそうな課題などを想定することで予防的な支援を目指していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 訪問支援員に限られており、登録人数が増えて必要時に支援できないことや新学期は希望者が偏る為すぐの対応が難しい。 | 訪問支援員が少ない。ニーズが増えている。 | 作業療法士や言語聴覚士など複数体制ではなく1人でも支援できる体制やフォローできる支援 |
| 2 | 訪問するまでの事前のヒアリングや聞き取りに時間が要することがあり、個別支援計画の策定までに時間がかかることがある。 | 関係機関内で評価や情報が分かるシートなどのサマリーが不足している。 | 専門職により、子どもの評価を捉える視点が変わるため、必要に応じてカンファレンスや専門用語を控えた現場の先生たちへ子どもの理解を促せるよな研修 |
| 3 | 地域での課題を定期的に共有するための訪問支援。 | それぞれの学校の行事の把握や新年度の体制などの理解ができておらず、市をまたいで学校により取り組みが変わる為情報不足。 | 教育委員会や子ども課等の連携方法を検討していく。 |

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ネットワロロッツ

公表日 令和7年3月17日

利用児童数 66名 令和6年10月31日 回収数 4

| | | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|---|--|----|---------------|-----|--|-------------------------------------|--|
| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。 | 1 | | | 3 | | 支援グッズや視覚支援のカードや障害特性に応じたレジュメなどは公開していないため、保護者の視覚的に分かるように周知します。 |
| | 2 | プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。 | 4 | | | | | 3施設ある事業所の空き状況を確認して保護者の時間と合わせて面談するようにしています。 |
| | 3 | 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 4 | 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。 | 4 | | | | 入所してから早い時期にも訪問支援があればよかった。(5~6月頃) | 新年度の体制が取れないこともあり、訪問支援ができる日程をあらかじめ周知していきます。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思いますか。 | 3 | 1 | | | 訪問する職員数が少ないと思う。 | 訪問支援に同席しながら、施設内でも訪問支援の人員を確保していきます。 |
| | 6 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 8 | 保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 3 | 1 | | | | |
| | 11 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。 | 4 | | | | 給食時間に合わせてSTも同行し、専門性のある助言や支援が行われている。 | 子どもの困りごとに合わせて専門職を支援できるように心がけていきます。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 3 | 1 | | | | 法律の改正もあり契約書や重要事項の説明に充分に対応できなかったため今後の説明を丁寧にしていきます。 |
| | 13 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 4 | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。 | 4 | | | | | |
| | 15 | 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 4 | | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 18 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 4 | | | | | |
| | 19 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| 20 | 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。 | 4 | | | | 早い時期にも訪問支援があれば、事業所と保育所で給食の大きさについて確認できたと思う。 | 必要に応じて優先度合いを付けられるように協議していきます。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|---|--|---------------------------------------|
| | 21 | 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。 | 4 | | | | 早い時期にも訪問支援があれば、事業所と保育所で給食の大きさについて確認できたと思う。 | 必要に応じて優先度合いを付けられるように協議していきます。 |
| | 22 | 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 3 | 1 | | | | インターネットなどを活用して保護者等に周知していきます。 |
| | 24 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 25 | 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。 | 3 | | | 1 | | 勘案事項として、個別支援計画等に記載していきます。 |
| 満足度 | 26 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 27 | 子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。 | 4 | | | | | |
| | 28 | 事業所の支援に満足していますか。 | 4 | | | | 普段の園の様子、関わりが分からないの で見に行ってもらえて嬉しいです。担任の先生にも伝えて下さるのでこちらとしてはありがたいです。 | 保護者との連携を密にとりながら地域での生活を支えていける支援を目指します。 |

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年3月17日

ネウボラロッツ

利用児童数

66名

令和6年10月31日

回収数6

| | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|--------------------------------------|-----|---|
| 1 | 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 6 | | | | |
| 2 | 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。 | 6 | | | | |
| 3 | 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。 | 6 | | | | |
| 4 | 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | 5 | 1 | | | すぐに解決できない課題などは、できるだけ担任の先生の不安等によりそいながら共同で支援方法を検討します。 |
| 5 | 事業所からの支援に満足していますか。 | 5 | 1 | | | 所属機関の行事などの状況や、カンファレンスする時間などがとれないこともありZOOMなども活用していく。 |
| その他のご意見 | | | | ご意見を踏まえた対応 | | |
| 今後とも、中学校へのスムーズな移行にむけて、ご協力いただけるとありがたいです。 | | | | 移行期のお子さんの支援は、保育所や学校など必要に応じて連携していきたい。 | | |

| | |
|----|---------------|
| 公表 | 事業所における自己評価結果 |
|----|---------------|

| 事業所名 | ネウボラロツツ | | 公表日 令和7年3月17日 | | | |
|----------------------------------|---|---|---------------|-------------------------------|--|--|
| | No. | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など | 課題や改善すべき点 |
| 環境・ 体制・ 整備 運営 | 1 | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。 | ○ | | 視覚支援のカードや、手先が不器用な子ども用の文房具などを持参している。またビジョントレーニングなどの提案ができるプリントなどをもっていくようにしている。 | ipadなどで情報を整理したり、動画することで地域の担当者がイメージしやすくしていく。道具の一覧などを写真にしておく |
| | 2 | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | 公認心理師が担当。複数支援では作業療法士や言語聴覚士が同行している。 | ニーズが多く訪問支援員が不足。今後地域を拠点にできるようにマンパワーの確保 |
| 業務 改善 | 3 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | それぞれに、観察記録を書き振り返りミーティングをしている。 | 継続していく。 |
| | 4 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | | ○ | 今回の実施が初めて。 | 今後に向けて検討していく。 |
| | 5 | 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | | ○ | 児童発達支援センター内で検討している。 | 関係者で検討していく。 |
| | 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | 未実施。 | 検討していく。 |
| | 7 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | ZOOMやネット配信などの研修会に参加している。子どもの研修を幅広く実施していく。 | 継続していく。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 8 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。 | ○ | | 訪問前に保護者からの聞き取りを実施している。手立てをできるだけ具体的に記入している。 | 継続していく。 |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 訪問支援計画は、関係者に閲覧できるようにしている。 | 継続していく。紙ベースでの情報では遅滞することもありICTなどの利用を検討していく。 |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | ○ | | 事前に担任の先生とヒアリングをしている。 | 継続していく。 |
| | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 支援計画は保護者に交付して担任の先生にコピーを渡してもらってる。 | 定期的にモニタリングすることで計画に沿った実施方法かを検討していく。 |
| | 12 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 専門職が法人内に在籍しているため、事業と合わせてフォーマルアセスメントを実施できている。 | 継続していく。 |
| | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 訪問先の状況のみで具体的な内容を設定している。また子どもの理解を支える資料を添付している。 | カテゴリに分けた資料の作成。 |
| | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | | ○ | 保育所、学校ともにマンパワーの不足などもあり、環境面での配慮が難しい場面が見られる。 | 環境面での配慮事項を具体的に提案できるようにしていく。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 多職種での訪問の場合は事前にミーティングをしている。 | 継続していく。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 専門的な視点が異なる為共有することで子どもの理解や環境面での理解をしていく。 | 継続していく。 |
| 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。 | ○ | | 事前にミーティングすることや学校計画などを参考にしている。 | 継続していく。 | |
| 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。 | ○ | | | | |
| 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | | ○ | | ニーズが多く、1人あたりの訪問回数が限られている。訪問以外での共有方法も検討していく。 | |

| | | | | | | |
|--------------|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 相談支援専門員と兼務しているため状況の把握がしやすい。 | 相談支援専門を増員した後も共有できる体制を作っていく。 |
| | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 就学委員会なども参加することもあり、教育委員会なども連携できてきた。 | 継続していく。 |
| | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | 移行時の訪問も移行後の訪問も実施することで子どもの情報を共有できている。 | 継続していく。 |
| | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | ○ | | 各専門領域の、学会や学習会に積極的に参加している。 | 継続していく。 |
| | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | 児童発達支援センターでの運営の為、自立支援協議会の構成員でもあり参加している。 | 継続していく。 |
| | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | SNSなどのツールも使い、相談支援体制を図っている。 | 継続していく。 |
| | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 児童発達支援センター内で月に1回座学の保護者学習会を運営している。 | 継続していく。 |
| 保護者等への説明等 | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | | ○ | | 法改正もあり、重要事項説明書に作成に時間がかかり説明が充分でない利用者もいたため今後は丁寧に実施していく。 |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | ○ | | パンフレットの作成。関係機関に年度初めに書類を教育委員会や保育所長会などで周知している。 | 継続していく。 |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | | ○ | 保護者との打ち合わせはできているが、子どもの希望を聞く機会が少ないため検討していく。 | 子どもの意見を聞く機会をも設けていく。 |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | ○ | | 具体的な計画の提案を心がけている。 | 面談が伸びることがあり、遅滞なく説明できるように実施していく。 |
| | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | | ○ | | モニタリングをする機会が少ないため、SNSなども活用して実施していく。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 児童発達支援センターでの集まりを定期的に実施している。 | 継続していく。 |
| | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | | ○ | | 利用希望者が多く、遅滞することがあり、必要に応じて相談枠を設けていく。 |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 法人のおたよりに掲載するようにしている。 | 継続していく。 |
| 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | | |
| 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 必要な会話を視覚支援カードにしたり、保護者にサマリーを渡すようにしている。 | 継続していく。 | |
| 訪問先施設への説明等 | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | ○ | | 行事や移行時に学校の先生から連絡が入ることがある。またつなぎあいシート作成に出席することもある。 | 継続していく。 |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | ○ | | 学校訪問時は、できるだけ放課後に再度訪問してカンファレンスしている。未就学児は午睡などを活用してカンファレンスしている。 | 継続していく。 |
| | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | ○ | | | |
| | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|---|
| | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | ○ | | 施設には公認心理師、言語聴覚士、作業療法士が在籍しているため各専門分野から助言するようになっている。 | 継続していく。 |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | 法人内で委員会を設置して行っている。 | 継続していく。 |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | | |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | | |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | | ○ | | 訪問支援計画には記載していない。教育場面では「指導」と言う言い方が多く虐待の扱いに差を感じる。相互の理解に努めていく。 |